

安全データシート

整理番号 【287-6】

制定日 2005/06/03

改訂日 2016/04/13

1. 製品および会社情報

製品

製品名 パワークイック熱ヤケ除去剤

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 区分2A

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性): 区分3

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 感嘆符

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 強い眼刺激、水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

取り扱い後は眼をよく洗うこと。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

【応急対策】

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察、手当を受けること。

【廃棄】

内容物、容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性：

酸性

塩素系の製品と一緒に使う（混ぜる）と塩素ガスが出て危険

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：＜ラベル表示内容＞

有機酸、無機酸

化学名または一般名：

塩化水素（CAS NO, 7647-01-0） 1%未満含有

4. 応急処置

吸入した場合：

万一有毒な塩素ガスを吸い込んだ場合には、直ちに患者を風通しの良い場所に避難させ、安静にした後に速やかに医師の診断を受ける。

手当が遅れると生命にかかわる恐れがある。

皮膚についた場合：

直ちに多量の水で洗い流す。液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。

手当が遅れると炎症をおこす恐れがある。

眼に入った場合：

直ちに流水で15分以上洗い流す。その後、速やかに医師の診断を受ける。

手当てが遅れると失明する恐れがある。

飲み込んだ場合：

直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる（アレルギーの場合はこの限りでない）。

無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

濃い液を多量に飲み込んだ場合、手当が遅れると生命にかかわることがある。

5. 火災時の措置

消火剤：

泡、粉末、炭酸ガスなど。

消火方法：

通常は燃焼しないが、万一、周辺状況により燃焼した場合は、上記の消火剤による。

6. 漏出時の措置

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

- ①用途以外には使用しない。
- ②作業時は必ず保護メガネおよびゴム手袋を着用する。
- ③他の薬剤・洗浄剤等とは混ぜない。
特に、塩素系の製品と一緒に使う（まぜる）と有害なガスが発生し、危険である。
- ④キャップを開けるときの液が飛び出す恐れがある。
また、容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。
緩んでいると、液が跳ねて目や皮膚に付く恐れがある。
- ⑤使用后、容器に残らないよう十分に水洗いする。水洗が不十分な場合、
素材によっては変色を生じる場合がある。
- ⑥ステンレス以外の材質には使用しないで下さい。
- ⑦クロムメッキ等で表面にピンホールができた器具には使用しないで下さい。
- ⑧ステンレスの材質によっては表面光沢が低下するものがあるのでご注意ください。

保管

適切な保管条件：

- ①幼児の手の届かないところに保管する。
- ②浸漬用容器はプラスチック、ガラス製等でフタができる容器等を使用する。
溶液の揮発を防ぐため、必ずフタをする。
また、容器は直射日光を避けなるべく涼しい場所で保管する。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：情報なし

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

保護具：必ず保護メガネおよびゴム手袋を着用する。

9. 物理的および化学的性質

外観：無色透明液体

臭い：原料臭

pH：1.0以下

比重：1.062（20℃）

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である。

危険有害性反応可能性：情報なし

混蝕危険物質：塩素系の製品

危険有害な分解生成物：

塩素系の製品と一緒に使う（混ぜる）と塩素ガスが出て危険

11. 有害情報

急性毒性：区分外

皮膚腐食性/刺激性：区分外

眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分 2 A（強い眼刺激）

呼吸器感作性/皮膚感作性：区分外

変異原性：区分外

発がん性：区分外

生殖毒性：区分外

特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：区分外

特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：区分外

吸引性呼吸器有害性：分類できない

催奇形性：情報なし

代謝：情報なし

労働安全衛生法による通知対象物質（NO. 98）塩化水素 0.8%含有

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質（いわゆる環境ホルモン）と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物：

大量の水で希釈し、消石灰、ソーダ灰等で中和後、処理する。

あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。

使用済容器：

管轄自治体のルールに従い、処理する。

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類：該当なし

国連番号：該当なし

引火性液体に該当しない。

運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：通知対象物質（NO. 98）塩化水素 0.8%含有

化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない。

16. その他の情報

参考文献

G H S 混合物判定ツール（経済産業省）

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - ・注意事項は通常の手続きを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-